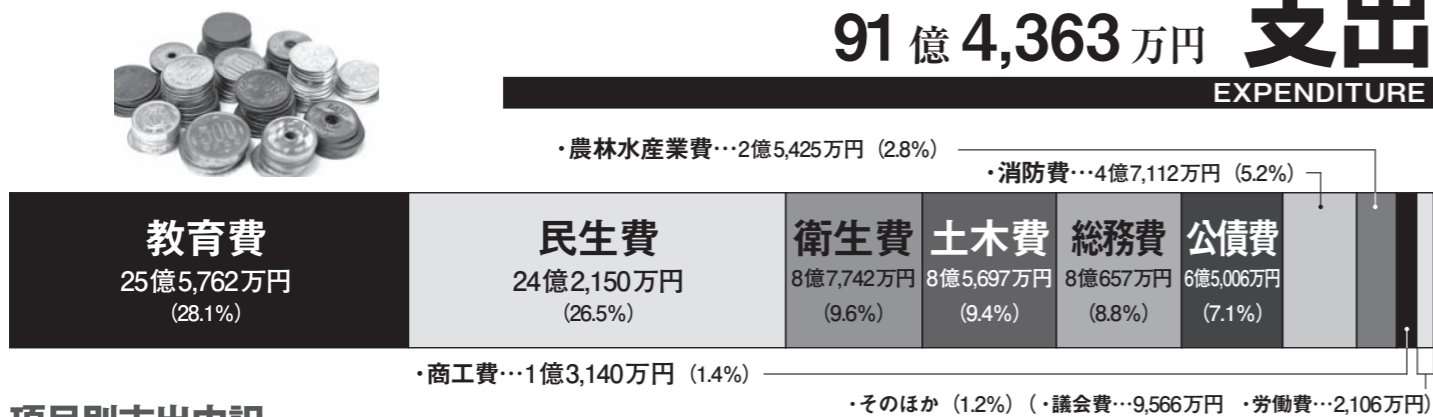


まちづくりの基本となる第4次総合計画（後期）に基づき、
限りある財源の効率的な運用に努めました。

平成26年度はどんな仕事にお金を使ったのでしょうか。一般会計の支出総額は、91億4,363万円です。町民1人当たり53万7,260円が使われたこととなります(平成26年4月30日現在人口17,019人)。

支出は、使われるお金の目的によって総務費や民生費、土木費など14の項目に分けられています。このうち最も大きな割合を占めているのが教育費で、中学校統合に伴う鞍手中学校整備費に21億1,457万円、小学校屋内運動場耐震補強工事設計管理委託料に1,726万円など平成26年度の支出全体の28%を占める25億5,762万円を使いました。また、民生費では、障害者の自立支援費に3億9,026万円、介護保険広域連合への負担金として2億6,316万円、重度心身障害者や乳幼児、ひとり親家庭などの医療費補助に9,957万円、衛生費では、ごみやし尿の処理に4億1,453万円を使いました。



項目別支出内訳

教育費

- 外国青年招致事業に(473万円)
- 小学校屋内運動場耐震補強工事設計管理委託料に(1,726万円)
- 鞍手中学校の整備費に(21億1,457万円)
- 体育施設の工事費に(2,180万円)

民生費

- 障害者の自立支援に(3億9,026万円)
- 介護保険広域連合負担金に(2億6,316万円)
- 重度心身障害者や乳幼児、ひとり親家庭などの医療費補助に(9,957万円)
- 児童手当に(2億4,143万円)
- 老人保護措置の委託に(2,505万円)
- 社会福祉協議会への補助金(4,272万円)
- 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金(5,716万円)

衛生費

- ごみやし尿の処理に(4億1,453万円)
- くらは病院の負担金に(2億8,164万円)
- 予防接種の業務委託に(3,466万円)
- 母子保健対策に(1,775万円)
- 合併浄化槽の設置補助に(811万円)

土木費

- 下水道事業の補助に(3億2,003万円)
- 道路や橋の新設や整備に(3億2,823万円)
- 水路や河川の整備に(3,692万円)
- 町営住宅の維持管理に(3,153万円)

総務費

- 交通安全施設の整備に(475万円)
- 鞍手駅関連施設の管理に(705万円)

消防費

- 直轄広域消防の負担金に(3億6,635万円)
- 防火水槽の新設に(490万円)
- 防犯灯の整備に(7,055万円)

農林水産業費

- 農業基盤整備促進事業に(4,215万円)
- 計画転作の推進に(1,408万円)
- 農地・水・環境保全向上活動支援事業に(1,071万円)

商工費

- コミュニティバスの導入・バス停の整備に(5,488万円)
- コミュニティバスの運行維持に(3,346万円)
- 元気まつり補助金に(226万円)

決算

平成26年度の町の決算です。

町が行っている事業は、

皆さんが納めた税金や、

国・県からの支出金などでまかなわれています。

決算は、このお金が皆さんの暮らしやまちづくりの中で、

どのようにいかされてきたかをまとめたものです。

では、町の家計簿のあらましを見てみましょう。



一般会計

収入 92億9,521万円



※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計と一致するとは限りません。

住民サービスの向上と新たなニーズに迅速かつ的確に対応できるよう、財源の確保に努め財政の健全化を図っています。

一般会計の収入総額は、92億9,521万円です。収入は、自主財源と依存財源に分けることができます。自主財源は、町税や使用料・手数料、財産収入、繰越金、繰入金など、町が独自に収入した財源で、平成26年度は26億475万円。そのうち町税は17億7,935万円で、収入全体の19.1%を占めています。依存財源は、地方交付税や国・県からの支出金、町債などで今年度は収入全体の72.0%を占めています。このうち収入全体の25.5%を占める地方交付税(全国各市町村の財政力のバランスを取るために国から配分されるお金)は23億7,040万円、国からの支出金は10億4,531万円、町債(道路や公園、学校など町が行う建設事業などの資金を調達するために国などから借り入れるお金)は25億1,203万円、県からの支出金は4億4,769万円となっており、依存財源による収入は66億9,046万円となっています。

財政健全化判断比率と資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、毎年度、市町村の財政状況に関する指標を報告することが義務付けられています。平成26年度の鞍手町の財政状況に関する指標は次のとおりで、健全化基準を超えている会計はありません。

○財政健全化判断比率					○公営企業の資金不足比率		
区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
鞍手町の比率	—	—	8.4	なし	鞍手町水道事業会計	—	20.00
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0	鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計	—	20.00
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	基準なし			

※(一)表示は黒字 ※(一)表示は資金不足なし
 /実質赤字比率…一般会計等の赤字から財政運営の深刻度をみる比率 / 連結実質赤字比率…町のすべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率 / 実質公債費比率…借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率 / 将来負担比率…町が抱える負債の残高から将来の財政への危険度をみる比率 / 資金不足比率…資金の不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

地方債の残高

平成26年度の鞍手町の決算における地方債(借金)の残高は次のとおりです。一般会計の地方債残高が増加した主な理由は、平成27年4月に開校した鞍手中学校の整備費に16億4,740万円の地方債を借り入れたことによるものです。

会計の名称	平成25年度末残高 ①	平成26年度借入額 ②	平成26年度償還額 ③	平成26年度末残高 ①+②-③
一般会計	64億6,110万円	25億1,203万円	5億7,607万円	83億9,706万円
鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計	35億2,269万円	9,640万円	1億2,420万円	34億9,489万円
地方独立行政法人くらは病院貸付金特別会計	17億1,699万円	6,010万円	1億8,357万円	15億9,352万円
鞍手町水道事業会計	11億5,073万円	0万円	2,867万円	11億2,206万円

国民健康保険事業特別会計

▷収入…21億8,625万円 ▶支出…23億3,177万円

自営業の人や退職者などの医療費を給付する会計です。主な収入は、保険税と国庫支出金。主な支出は、医療費や後期高齢者支援金などです。

●対象者 2,757世帯 4,579人 ●1人当たりの医療費 386,919円



後期高齢者医療特別会計

▷収入…2億3,930万円 ▶支出…2億3,850万円

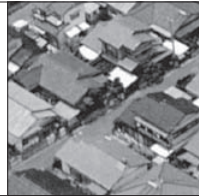
老人保健制度に代わり、平成20年度から始まった後期高齢者医療制度を運営するために設けられた会計です。県内のすべての市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、町と協力して制度運営に当たっています。平成26年度の対象者は、2,605人です。



住宅新築資金等特別会計

▷収入…156万円 ▶支出…156万円

旧同和地区の住宅環境を改善するための会計です。収入は、貸付金の回収金。支出は、町債の返済、一般会計への繰出金です。



流域関連公共下水道事業特別会計

▷収入…7億5,959万円 ▶支出…7億5,952万円

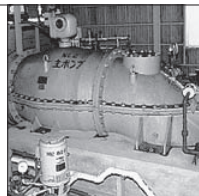
生活環境の向上と河川の汚濁防止を目的に下水道を整備するための会計です。支出の約55.3%は、中山地区などの下水道管の整備に使われました。また、8.8%は、中間市に建設している終末処理場（中間市、水巻町、遠賀町との共同事業）の建設負担金や維持管理負担金です。



かんがい施設維持管理運営費特別会計

▷収入…2億6,508万円 ▶支出…2億6,507万円

西川沿い11か所に設置されているポンプの維持管理をするための会計です。収入は、基金からの繰入金や基金を運用して購入した国債などの利息です（平成26年度は、利息等1億1,563万円を積み立てています）。支出は、運転手の賃金やポンプを稼働させるための維持管理費です。



谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計

▷収入…3,424万円 ▶支出…3,423万円

農業用水を確保するために室木の谷山池から倉坂地区まで約13キロにわたって設置されているパイプラインを維持管理するための会計です。収入は、基金からの繰入金や基金を運用して購入した国債などの利息です（平成26年度は、利息等3,134万円を積み立てています）。



泉水団地改良住宅移設事業特別会計

▷収入…9億1,768万円 ▶支出…8億2,675万円

旧炭鉱跡から高濃度の鉄分を含む排水「赤水」が出ており、国の指導のもとで処理施設を建設するため、泉水改良住宅の一部を移転するための会計です。平成24年度から平成27年度までの4年間事業で、収入のほとんどは、「独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構」からの負担です。支出は、団地の造成や町営住宅建設に使われます。



地方独立行政法人くらて病院貸付金特別会計

▷収入…2億6,705万円 ▶支出…2億6,705万円

地方独立行政法人くらて病院（旧町立病院）への貸付金などを管理するための特別会計です。収入は、町が直接借り入れる町債と町債の償還に関してくらて病院から受け取る負担金です。支出は、町が借り入れた町債をくらて病院に貸し付ける貸付金と町債の元利償還金です。



特別会計 (収入) **46億7,073万円** (支出) **47億2,444万円**

企業会計 (収入) **3億4,740万円** (支出) **3億4,240万円**

水道事業会計 収入…3億4,740万円 支出…3億4,240万円

水道事業の運営のために設けられた会計です。収入の大部分は、私たちが支払った水道料金です。支出は、安全な飲み水を作るための費用です。

●給水戸数 6,681世帯 ●給水人口 14,832人



一般会計のほかには、8つの特別会計と1つの企業会計があり、どの会計も私たちの暮らしを支えるために役立っています。



※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計と一致するとは限りません。